

**(1) 実践の概要**

たくさんの人に「おいでまい祭り」に来てもらうために、「おいでまい祭り」の開催を知らせるポスターや映像を考えて作成し、地域の人たちにも祭りのよさを伝える実践

**(2) ここがキーポイント!!「問いと見通し」と「振り返り」**

- ★「おいでまい祭り」のことを調べたり、聞いたりして「おいでまい祭り博士」になる。(実践の具体①)
- ★1度作成したポスターや映像を全校生や説明をしてくれた方に見てもらい、『どこが分かりにくくて、どう直せばよいかのフィードバック』が子どもの「もっとパワーアップさせたい!」につながる。(実践の具体③)

**(3) 実践の具体**

① おいでまい祭りの主催者である、牟礼コミュニティ協議会の方においでまい祭りの歴史や開催されている人たちの思いを話していただいた。久しぶりの開催になるので、3年1組のみんなに盛り上げてもらいたいという思いを託され、やる気がアップした。

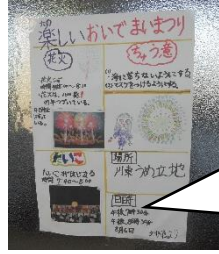


おいでまい祭りは、多くの人の思いがあって、その思いが受け継がれてきたお祭りだと分かったよ。

たくさんの人に「おいでまい祭り」のことを知ってもらって、祭りに行っていきたいな。



② 教えていただいたことを元に、おいでまい祭りを紹介するポスターと映像をグループに分かれて作成した。ポスターは校内に掲示し、映像は各学級で見てもらった。牟礼コミュニティ協議会の方にもポスターと映像を見てもらった。



おいでまい祭りの知ってほしいことをたくさん書いたよ。これで、全校生もおいでまい祭りのことがよく分かるよ。

たくさんの人に見られるから、服装を整えて、姿勢よく発表したよ。



でも…

④ パワーアップしたポスターは校内と地域の店や公共施設に掲示してもらい、映像も見てもらった。おいでまい祭り当日はたくさんの方が会場に足を運び、盛り上がった。今回の活動が意味あるものとなり、子どもたちも大満足だった。



牟礼コミュニティ協議会の方にとっても喜んでくれたよ。自分たちがしたことで喜んでくれる人がいるって、こんなに嬉しいんだね。

たくさんの方が祭りに参加してくれていたよ。これからもずっと祭りが続いていくようにしていきたいな。



③ 見た感想を教えてもらったが、「ポスターや映像が分かりにくかった。」「おいでまい祭りにあまり行きたいと思わなかった。」と答えた人がいることに衝撃を受けた。指摘されたところを改善し、パワーアップしたポスターや映像を作ることにした。



「おいでまい祭り」のタイトルを大きく目立つように書いた方が見る人も気づきやすそうだね。

映像で発表する時は、発表をしている人が楽しそうに笑顔で話をする、伝えたいことの楽しさが伝わりそうだね。

